鐵工組合	一三票
鐵工組合	六票
鐵工組合	一二票
鐵工組合	二〇票

長門氏の書面を見るに次の如し

二時頃ヨリ日本郵船中ノ由。

票二テ決セラレタル旨ヲ聞知シ八時頃同志會ヨリ出席ノ諸君ニ對シ左ノ通リ報告ス

情況

大阪	六四票
盟友總同盟	一一票
〃 海員組合	五票
〃 總同盟	二票
〃 全國同盟	二票
神戸 日本海員組合	二三票
東京 總同盟	二一票
東京 十條勞働聯合會	六票
横濱 浦賀船渠	三票
神戸 海陸仲仕組合	二票
計	六二票

で其差は實に僅少となつて茲に長門氏の積極的運動と總同盟の防戰運動は全く白熱化し總同盟側は極力長門氏の幸制に務むると共に其挑戰的態度に業を煮して十七日遂に政府に向つて聲明書を發表した（其全文は別紙の如くである）

然るに此激烈なる運動の間に在つて超然と形勢を觀望し其實虎視膽々乘ずべき機會を伺つて居るものがある、態度未決の有資格組合即ち是れである。事實今日の互角の戰は是等有資格組合の態度によつて全く勝敗の數が明になるのであるから兩者は是等の組合に對し大いに注目するのは必然の理であると共に是等の組合は掌握せるキカスチングボードを有效に使用せんとして居るのである

財團法人協調會大阪支所